

ドローンを活用した 北海道の防災に関する取組

要旨

1. 災害協定締結の背景
2. 災害協定の概要
3. 期待される効果
4. 今後の展望



北海道の災害リスク

- 地震、津波、風水害、雪害、火山 等
- 災害の激甚化・頻発化

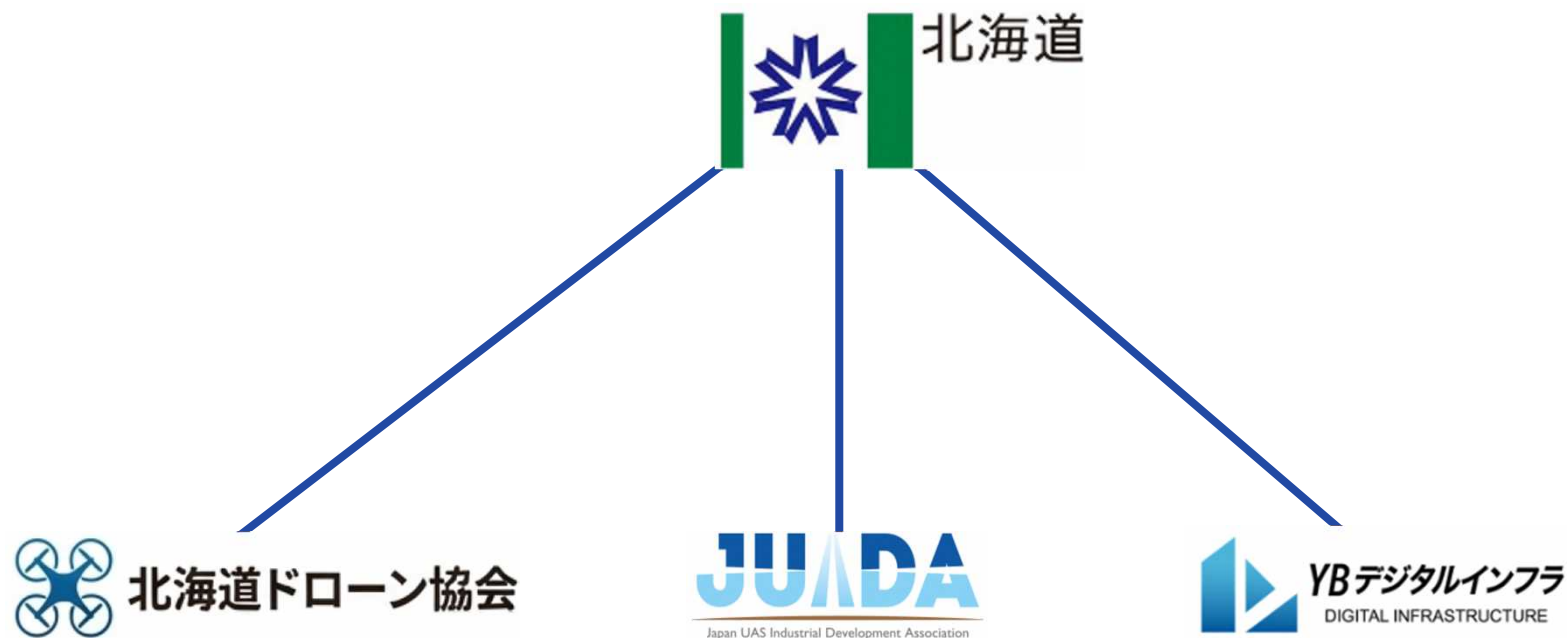


デジタル技術の活用

- 迅速な情報収集、分析
- 限られたリソース
- 関係機関との共有
- 道地域防災計画への位置づけ

※令和6年能登半島地震

災害時におけるドローンによる 支援活動に関する協定 (R7.5締結)



災害時と平時の両輪での支援体制

災害時

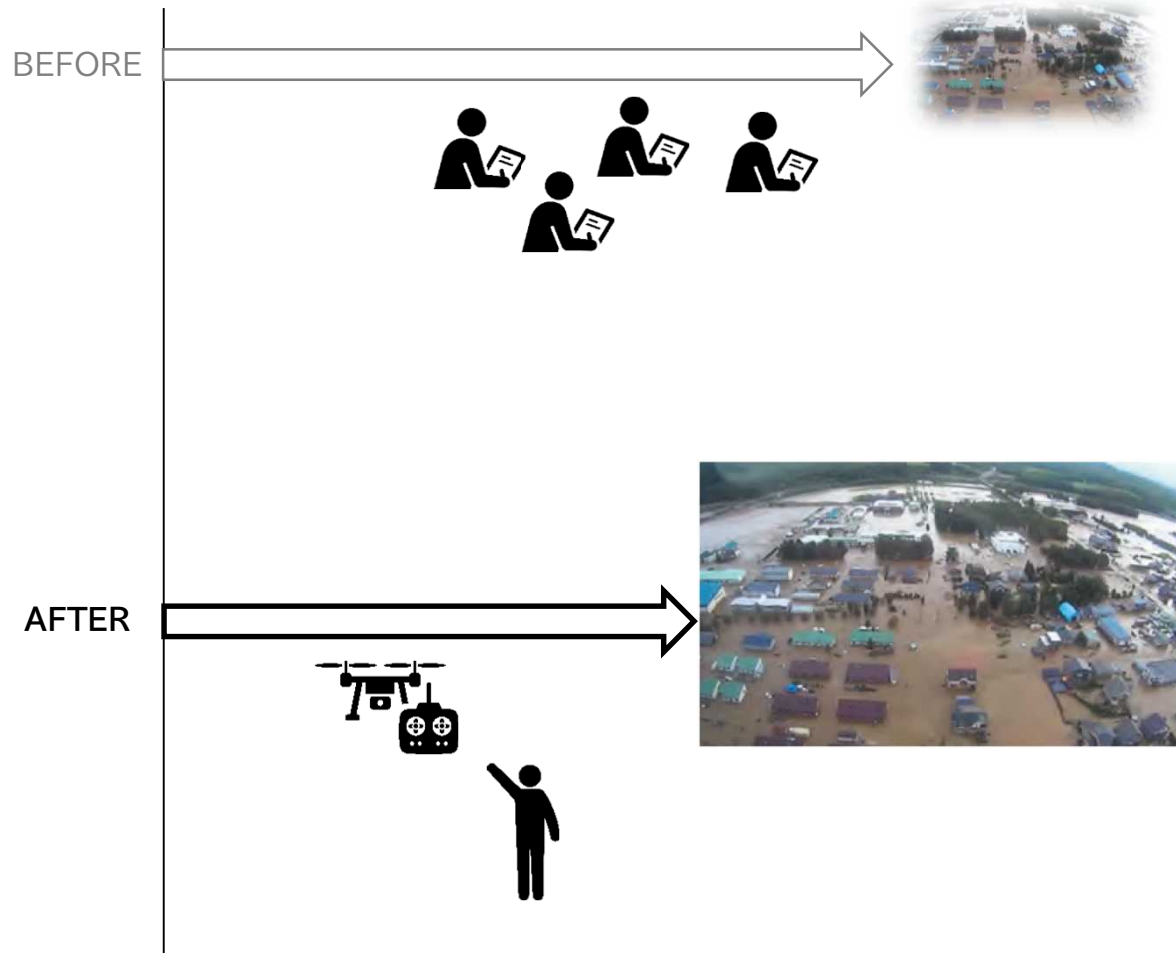
災害発生時のドローンによる情報収集支援
迅速な空撮による被害状況の把握

操縦者、機体の提供
ニーズに応じた機材と高度な技術を持つパイロットの派遣

平時

自治体とドローン関係団体との連携体制構築
顔の見える関係の構築

訓練研修の実施
実践的なドローン運用訓練



初動対応の迅速化

- 被害状況の早期把握
- 避難判断、救助活動の精度向上

自治体間の技術格差の補完

- 専門団体による支援
- 小規模自治体でも高度な空撮可能

平時からの連携強化

- 訓練を通じた顔の見える関係づくり
- 災害時のスムーズなオペレーション

災害時、円滑に連携し活動できる関係づくり

- 災害時の円滑な情報収集、分析、活用スキーム構築
- 訓練を通じた顔の見える関係づくり
- 3団体と道、関係機関との間で定期的な情報共有の場